



名古屋経営研究会 会長 深田正雄

住所：名古屋市昭和区鶴舞 4-2-12 ダイアパレス鶴舞公園 902 / TEL:052-733-0354
入会年月日：1995.07.03

NAME

PROFILE

1948年10月、名古屋市生まれ。一橋大学卒業後、アメリカのホテル会社就職。1975年帰国しホテルオークラ勤務、1983年（株）モリシマ、料亭蔦茂社長就任。名古屋経営研究会主宰や栄ミナミ活性化協議会など「住吉の語り部」活動を展開。名古屋の旧町名を復活する有志の会代表、河村たかし政策研究会代表。

”住吉の語り部” になりたい

「栄ミナミ街づくり」集大成は：

今こそ栄ミナミはアパレルやカフェなどがたくさんあり若い人たちが賑わう街ですが、三〇年前はそうじゃなかった。住吉エリアは当時から繁華街でしたが、治安が悪くイメージはよくなかったのです。私が生まれ育ったこの街をどうにかしたいという気持ちから、歩いて楽しく住みやすい街づくりを始めました。最初に行ったのは当時経営していた（株）モリシマの社員たちとともにした清掃活動です。矢場公園を清掃したり、すれ違う人と挨拶したりするうちに徐々に街の雰囲気が変わっていくのを実感しました。そしてもっともこの街を活性化させたいという気持ちが沸きいろいろなやり取りのうちに、面白い考えを持った人たちが集まって目論んでいることを知ったんです。私以外全員、栄ミナミ出身ではないのに熱く町おこしを考えていて「名古屋と真ん中祭り」を成功させていた。こ

クトも未完成です。当初の構想だと三蔵通に芝生を貼り名駅までトラムを走らせる計画なのです。集大成？まだ五〇年いや一〇〇年ぐらいかかるかな（笑）。

交流会で人の輪を広げたい

私は生まれも育ちも名古屋・栄で、実家が住吉のランドマーク的な老舗料亭をやっていたので、有難いことにみなさんが親しみを持ってくれます。名古屋が嫌で東京へ行って、日本が嫌でアメリカへ行って、「やっぱり名古屋が世界一だや」と帰国し活動していますが、三蔵通の桜並木プロジェクトも音楽祭もグルメグランプリも、全部、よそ者の仲間たちのアイデアです。地元の人からはこんなに素晴らしいアイデアは出てこないでしょうね。

じゃあ私には何ができるんだろう、何をすべきなんだろうと考えた時に出たのが、住吉の語り部になることでした。うち者として栄ミナミの歴史、文化、伝統を広く伝えていく必要がある

と感じたのでエッセイを書き、今は各地の講演会におじゃまして語り部をしています。それが今の私のライフワーク。この活動を続けるため、人の輪を大切にしたいという思いで異業種交流会を行っています。趣味の溪流フィッシングもそうですが、この二つは生涯続けるのではないかと思いますね。



[1] 2021年に出版したエッセイ集を手にした年賀状



[2] 毎年の妻・息子との海外旅行もライフワークの一つ

リーダーたちの素顔と哲学

【座右の銘】

明元素（明るく元気に素直に）

【来世になりたい職業】

溪流釣り師

【最期の晩餐】

親しき友、家族と美味しいお酒で！！

【これからやりたいこと】

住吉の語り部になりたい！

れにはすごく刺激を受けました。「こりゃ一緒にやらないかん！」と思って参加し、そこからみんな一丸となつての栄ミナミ街づくりが始まったのです。
二〇〇七年頃はミッドランドビルがオープンして話題が名駅に集中していたため、栄ミナミも注目させようと「栄ミナミ音楽祭」を開催し大成功。おかげさまで地域全体を音楽で盛り上げるこのイベントは現在でも毎年続いています。それをきっかけに、私が地元出身のため「栄ミナミ地域活性化協議会」の会長に担ぎ上げられました。そしてその後もグルメグランプリや盆踊り、歩行者天国、スケートリンク、シネマキャラバンなど次々に実施。多くのユニークなアイデアのおかげで忘れていましたが、気が付いたら私も七〇歳。そろそろ引退するわと言って後進に引き継ぎました。でも、まだまだ街づくりは続いています。舗道の拡幅もスタートしたばかり、二〇一五年からはじまった三蔵通の早咲き桜並木プロジェクト